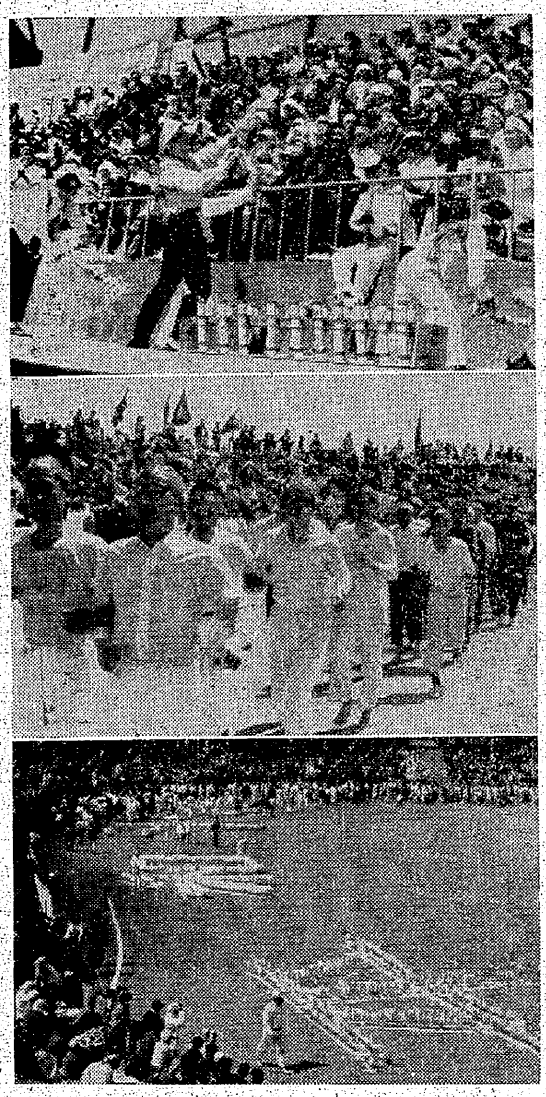
みなぎる団結の力

家族ぐるみで団結大運動会

「合理化をはね返し、平和斗争を勝抜く団結大運動会」は三月三十一日午前九時半から、大牟田市営球場に一万五千名が結集し、名実ともに家族ぐるみの団結大運動会を展開した晴れ渡つた青空の下でつぎつぎと繰りひろげられる団結競技は、まさに斗う労働者の力の祭典であつた。大運動会を祝つて総評、炭労はじめ全国の仲間からは支援と祝電が寄せられ総抵抗の大会となつた。水俣労組からも一〇〇余名が参加され、大運動会を通じて全国の仲間との連帯をさらに強めるとともに、平和斗争・反合理斗争への強力な意志統一をして勝利を誓い合つた。

○…すつきりと晴れ渡つた青空の下に、会場の市営球場はすつかり準備がなり後は開場を待つばかりだが、これまでの準備は並大抵ではなく、久保田大会委員長いかの大会役員、執行部、主婦会役員の数日にわたる努力を忘れてはならぬ。



（上）各支部の応援団も競技に劣らぬ活躍ぶり
（中）共斗と連帯の三池とともに
（下）平和斗争の旗文字、この力で勝抜こう

前夜など殆んど徹夜の状態で作業をつづけた。

ほんとにご苦労様でした。

○…大会の圧巻は何といつても入場式だつた。

「みいけ楽団」の演奏する「いつも夜明けだ」の曲で堂々の入場。全くのぶつつけ本番だが、整然たるその入場式をみてスタンドからは「ホーツ」という歓声がもれ、そしてわれに返つたように万雷の拍手と変つた。

行進は斗う三池労働者の姿をまざまざと示し、それは何ものにも屈せず勝利へ向つて堂々と胸を張つて進む労働者のたくましさを見せつけられた。

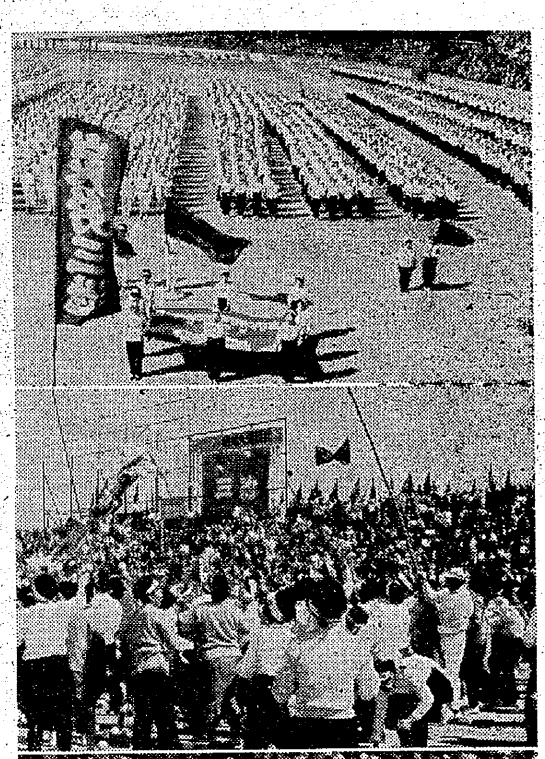
○…各競技は団結運動会にふさわしく団結と連帯を現すものばかり。怒りをこめた手で力一杯布玉を投げてクス玉を割る主婦の「合理化反対」、「連帯を示した「総評・炭労は前進する」など十五種目だつた。

○…五発の爆竹を合図に連絡員が飛び出し永田次長から指令を受け各支部の組合員、主婦に伝える「緊急動員」は、まさに実戦さながら。その素早い動作と統制ぶりはさすがは三池と来賓席からも声があがつていた。

○…「三池とともに」では地評各組合が参加し、各組合委員長、組合長も力走し、力強い共斗ぶりを見せた。

○…「平和斗争」ではまさに全員が一致して組織候補に殺到し旗文字をつくり、組織の力を発揮した。

○…各支部とも創意をこらして応援団もなかなかの多彩。



（上）会場の大拍手の中に堂々の入場式
（中）見事に合理化粉砕の合理化反対
（下）指令一下迅速な緊急動員

出場者と観覧者と応援が完全に一つに融合つて、スタンドは和気あいあい。

○…家族リレーでは各支部長、書記長がスタートとあつて応援も一段と熱が入つた。

幸か不幸か中途でやり直しとなり選手の皆さんには大変お気の毒ながら、組合員家族は二度見られると大喜びだつた。

○…来賓席での向坂先生は終始ニコニコと競技をながめていたが、最後に挨拶に立ち「この楽しさは正しいもののみがつくれるものです。労働者の手でこういう楽しさがつくれることを全国に宣伝します」と述べられた。

優勝は四山支部

総合得点の結果、つぎの通り順位が決定した。

優勝＝四山（34点）二位＝三川（32点）三位＝本所（30点）四位＝宮浦（26点）五位＝港務（18点）

勝立鳩友会の協力

開会と同時に会場に一五〇羽の鳩が舞立つたが、これは勝立鳩友会（本田恒信会長）の協力によつた

平和斗争と合理化をはね返そう

本所　一　主婦

二十八年の一二三日斗争の当時は田舎にいて、なにもわからずすごしてきました。争議はいやなことだときえ思つていました。その後社宅に移り、組合からの情宣、学習会、婦人講座などの勉強で、自分たちの幸福は自分たちで築かねばならぬと考えるようになり、組合とともに努力してきました。

三一三日斗争では組織分裂の悲しい現実にあい、きびしい現実を知らされました。

第二組合の人を一人ひとりながめてみると、要領よく自分よかれの人ばかりのようです。私の班に第二組合員で、明日をも知れぬ命の人がいますが、何のなぐさめの言葉もかけられないらしく、栄えている人にはチヤホヤするが、落ちぶれた人には耳もかさないありさまでほんとうに哀れなことだと思います。その人は、三池労組員に米を借りに来たり、ぐちをこぼしていますが、いまこそ組合というものがどういうものかよくわかられたことでしょう。

就労後、差別や切りくずしに負けずにがんばつてきた三年間一方平和協定をむすび絶対に首切りはないといつていた第二組合だが、結果は第三次合理化案を強行されようとしています。いいえ、すでに首切りが行なわれている実態は、第二組合のなかにあらわれてきています。あわてふためいているのは第二の人で、仕方なしに辞めている人もあることを……。

第三次合理化案は絶対許すことはできません。例え数こそ四千数百名であつても、しつかり団結している姿を経営者に思いしらせる時機が目前にせまつています。それは四月の地方選挙です。

この結果こそが、団結の姿をいちばんよく評価されるものです。それぞれの候補者を当選させることが、第三次合理化をはね返す原動力だと固く信じます。明るい世の中をつくりあげるため、お互いにがんばりつづけましょう。

× × ×

苦労はおなじ ともに斗おう

―水俣主婦会との交流―

去る三月二三日、水俣主婦会の江口会長、小川副会長が三池主婦会を訪れ、支部長会議と懇談会を持つた。

妥結後十一回にわたる分割就労に乗じて会社と御用集団は、暴力をふくむ切崩しをおこない「第二組合にくるなら原転に帰えす」とか「第一にいてはいい仕事につけない、幸福になれぬ」とか、公然不当労働行為をくり返し、吉岡社長は大争議に反省することなく、新たに施設部をもうけると声明し、第一の組合員とくに活動家を土方作業にまわし、女子職員に窓ふきをやらせるなどのイヤガラセをやり、三月には希望退職を募集する方針を記者にかたつている。

このような中にも、会社の差別と切崩しに抗する組合員を支える主婦たちの苦労は私たちと変らないものがあることが、この懇談会で明らかにされた。本当に脱落を止めるためにはどうしたらよいかまた、会社の切崩しの真の意図はなにか、指導部の態度はどうあるべきかなどの問題について、三池と水俣からそれぞれ経験が交流され、ともに最後まで斗うことを誓い合つた。

抵抗と団結の厚みを主婦の力で

第九回中央評議員会

第九回主婦会中央評議員会は、三月十四日午前十時から大牟田市労働会館大ホールで開かれた。分会座談会の成果を確認し、地方選挙へのとりくみ、長期抵抗斗争と団結の基盤である五人組の方針を積極的に理解し、家族的雰囲気を加えてさらに団結の厚みを増すことなどが決議され、また

(イ)全会員の生活の実態を調査し総括的な資料として対内外の情宣ならびに組織強化や斗争推進の資料とする。

(ロ)主婦の生活の中から出てくる要求や希望などを集約し、具体的な生活対策の資料とする。

(ハ)とくに第三次合理化案に対決する構えを家庭生活から築きあげることを目的とした「生活と組織の実態調査」の実施が決定された

みいけ主婦会

※原稿送り先―大牟田市不知火町2
三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき―市内3033・8100　炭鉱　474・528
※責任者　組織部長　渋田一恵

渋見